

メモリハイコーダMR8870で耐圧試験器のアナログ出力を記録する方法

日置電機株式会社

☆設定内容

- ・CH1で電圧、CH2で電流
- ・測定電圧：1kVで10mV出力
- ・流れた電流：1 μ Aで10mV
- ・トリガ：不使用
- ・サンプリング10ms
- ・記録時間：20秒間

の場合、メモリレコーダモードの設定の測定設定のページで以下のように設定します。



スケーリングの設定は2点設定で以下のように入力し、決定します。

CH1 電圧

スケーリング 2点設定 (CH1)	
入力1	10mV → 物理量1 1 単位
入力2	0V → 物理量2 0 kV

リセット 決定 キャンセル

CH2 電流

スケーリング 2点設定 (CH2)	
入力1	10mV → 物理量1 1 μ 単位
入力2	0V → 物理量2 0 A

リセット 決定 キャンセル

☆ポイント

- ・メモリレコーダモードでは1div=1マスに100個のサンプリングをするのでサンプリング周期は時間軸の1/100になります。
- ・時間軸×記録長が記録時間になります。
- ・この時間軸と記録長の設定変更でサンプリング周期、記録時間の変更ができます。

・測定レンジの変更で測定範囲を変えることができます。

電圧：10mVの時には10kV、20mVの時には20kVなど

電流：10mVの時には10 μ A、20mVの時には20 μ Aなど

・記録データにノイズが載る場合には、L.P.F(ローパスフィルタ)の設定をします。
5Hz、50Hz、500Hz、5kHzから選択できます。
この設定値は、サンプリングスピードよりも速い設定にする必要があります。

※上記の内容は一例として示しています。試験器の仕様、測定環境に応じて設定は変更してください。